



令和3年度 第26回静岡県中学校新人バレーボール大会で準優勝

浜岡中学校 男子バレーボール部



静岡県バレーボール協会が主催する「令和3年度 第26回静岡県中学校新人バレーボール大会」が1月8日と15日に開催され、浜岡中学校の男子バレーボール部が準優勝という快挙を成し遂げた。

同部は初戦からストレート勝ちを重ねたものの、決勝戦では予選から圧倒的な強さで勝ち上がった浜松修学舎中学校に惜しくも敗退した。玉村駿監督は「準優勝できたことは率直にうれしかったです。本校から出場したのは小学生的頃から実績のある選手ばかり。今大会で結果を残すことができてほっとしています」と胸を撫でおります。

コロナ禍での準備と想い

玉村監督は大会前、新型コロナウイルスの影響で思うように練習時間を確保できない中、ある工夫をした。それは「ポジション別の練習だ」。

「大会で勝つためには、限られた時間の中で効率良く練習し、選手の技術を高める必要がありました。そこで、ポジションごとに分かれて練習することで専門性の強化を図

りました」

チームのキャプテンとセッターを務める2年生の河原崎空さん(門屋)は「玉村監督の指導のもと、強いチームを作るために仲間とさまざまな障害を乗り越えてきました。次の大会では、より良い結果を残すことができるよう頑張ります」と意気込んでいる。

さらなる高みを目指して

本大会で準優勝したことにより、東海大会出場の切符を手に入れたが、新型コロナウイルスの影響で大会の中止が決定した。しかし、玉村監督をはじめ選手たちは前を向く。全国大会出場を目指してまい進する浜中男子バレーボール部に期待したい。



▲作戦会議をする玉村監督と選手